

平成30年 6月 8日

新潟市の拠点性向上に向けた
新潟駅及び周辺整備促進に関する提言

新潟商工会議所
まちづくり委員会

趣 旨

平成18年度の新潟駅周辺整備事業の開始以降、様々な紆余曲折を経ながら関係者の努力がようやく実り、新潟駅連続立体交差事業がいよいよ佳境を迎えています。

既に本年4月には高架駅第一期開業、平成33年には新しい新潟駅も合わせて全面開業が見込まれており、日本海側の拠点にふさわしい都市機能の強化に期待が高まります。

さらに幹線道路や駅前広場の整備事業などを含めた新潟駅周辺整備事業については、新潟市の顔である新潟駅から古町地区までの「都心軸」を意識したまちづくりや景観・環境整備を行う上でまたとない機会といえます。

新潟商工会議所まちづくり委員会では、平成27年11月に「新潟駅及び周辺整備による拠点性向上に向けたまちづくり分科会」を創設し、様々な関係機関にもご参画いただきながら、新潟駅及び周辺整備をより効果的に行うことで新潟の拠点性向上に繋げ、まちの活性化に資する方策等を検討してまいりました。

新しい新潟駅の機能については、現在の新潟駅が抱える「狭隘さ」「バリアフリー対応への遅れ」「導線や案内のわかりにくさ」といった課題が、この度の一連の整備事業で解決されることが求められます。さらに、多様な観光客対応やユニバーサルデザイン対応など、変化の激しい時代のニーズに即した新たな機能が付加（強化）される必要があると考えています。

新潟駅周辺の景観整備については、駅そのものの議論と同様に大変重要であり、この機会に全体の構想を明確にし、一体となって検討を進める必要があると考えます。

また、新潟駅周辺整備のみならず、新潟駅から古町へと至る「都心軸」における景観・環境整備においては、現在顕在化しているいくつかの大きな課題に対して、官民の連携やネットワークも最大限に活用し、新潟の総力を挙げて取り組むことで、内外に誇れる新潟らしいまちづくりを進めることができると考えますので、整備事業の主体である新潟市のイニシアチブによって、さらに円滑かつ速やかに事業が進むことを期待いたします。

新潟市民が誇りを感じ、また来訪者にとって快適で、象徴的かつ機能的な「まちの玄関口」として、新潟駅ならびに駅周辺をつくり変え、そこから都心軸へと続く「まちの顔」を整えることは、新潟市の拠点性を高め、新潟全体の活性化に繋がっていくと考え、以下の提言をいたします。

提言 1. 都心軸における景観整備マスタープランの策定

新潟駅周辺整備事業を契機として、新潟のまちなか再生を考えると、新潟駅及び周辺整備にとどまらず、新潟駅から萬代橋、さらにはミズベリングで賑わうやすらぎ堤から古町へと至る「都心軸」の景観・環境整備が不可欠です。現在、新潟市では、「新潟駅万代広場等整備検討委員会」、「にいがた交通戦略プラン検討委員会」、「西港・水辺まちづくり協議会」の3つの検討委員会の議論に横串を通して全体像を共有し、統一した都市デザインをもとに将来像を描く目的で「拠点化に向けたまちづくり懇談会」を設置し、総合的に議論を進めています。

これら官民による様々な取組に横断的な繋がりや連携を持たせ、より効果的な成果を得るためにも、都心軸における新潟駅周辺、万代、古町などのエリアごとの機能や特徴を確認し、各エリア、さらにエリア内のブロックごとに目指す環境や景観について、可及的速やかにマスタープランを構築・策定し、進むべき方向性をさらに明確にすることが望まれます。

提言 2. 新潟駅周辺の環境・景観整備

都心軸のなかでも、「新潟市」の表玄関である新潟駅の万代口から東大通にかけては、とりわけ統一感のある景観を有することが望まれます。

新潟駅周辺整備事業の中心ともいえるこのエリアにおいては、複数のビルが老朽化による更新時期を迎え、改修や新築の動きが見られることから、この機を捉え、ビル低層部の活用方法やビルの色調、屋外広告のあり方、さらには歩道拡幅による緑地やアメニティ空間の確保など、多岐に渡る関連項目を網羅的に検討のうえ、提言 1. で挙げたマスタープラン策定の動きにも十分配慮しながら、中長期にわたる取組の方向性を定める必要があると考えます。

提言 3. 官民による密な連携と検討体制の構築

新潟商工会議所まちづくり委員会の「新潟駅及び周辺整備による拠点性向上に向けたまちづくり分科会」では、新潟市と東日本旅客鉄道株式会社新潟支社からオブザーバーとしてご参画いただき、関連業界団体等とともに、新潟駅及び周辺整備事業を新潟市の拠点性向上やまちの活性化に繋げていくための効果的な方策等について検討してまいったところです。

今後は、新潟市のイニシアチブにより、様々なステークホルダーを巻き込みながら、具体的な行動に繋がり得る官民連携の検討体制（協議会等）が早期に構築されることを強く望みます。

平成30年度 まちづくり委員会委員名簿

(順不同、敬称略)

委員会役職名	駅周辺 分科会	事業所名	役職名	氏名
委員長		(株)第一印刷所	常務取締役	阿部 正喜
副委員長	担当 副委員長	北陸ガス(株)	取締役営業部長	渡邊 義彦
副委員長		新潟交通(株)	事業部長	高井 俊幸
委員	座長	(一財)新潟経済社会リサーチセンター	常務理事	佐藤 孝一
委員	委員	(株)エヌエスケイ	代表取締役	本間 龍夫
委員		(株)日本政策投資銀行新潟支店	次長	工藤 富夫
委員	委員	(株)北越銀行	ソリューション営業部 副部長	加藤 隆二
委員		東日本電信電話(株)新潟支店	新潟支店長	山本 健一
委員		開発技建(株)	取締役企画部長	高橋 邦夫
委員		(有)ミカユニバーサルデザインオフィス	取締役社長	中村 美香
委員		東北電力(株)新潟支店	副支店長	佐藤 信康
委員		(有)港寿司 本店	代表取締役社長	川上 伸一
委員		(株)越路	常務取締役	前川 周作
委員	委員	(株)BBS新潟	代表取締役	栗山 靖子
委員		(株)ジョイフルタウン	営業部統括部部長	笹川 清彦
委員		(株)第四銀行	コンサルティング推進部 地方創生推進担当部長	村山 徳裕
委員		新潟大学 工学部	教授	岡崎 篤行
委員	委員	(公財)新潟観光コンベンション協会	地域内連携推進担当部長	小嶋 一則
委員		(株)JTB 新潟支店	業務課長	三上 敬太
委員	委員	(株)千代田開発	取締役	佐藤 邦栄
委員		(株)BSNアイネット	代表取締役副社長	南雲 俊介